一般社団法人日本医療薬学会
2023年度第5回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2023年12月27日（水） 13時00分 ～ 17時35分

二．開催場所： ハイブリッド開催（事務局会議室＋Zoomを利用したウェブ会議）

三．出席者

会 頭： 山本 康次郎
副会頭： 石井 伊都子
理 事： 石澤 啓介、伊藤 清美、佐野 俊治、関根 祐子、富岡 佳久、宮﨑 長一郎、村木 優一
監 事： 奥田 真弘、安原 眞人
顧 問： 和田 一夫
年会長： 本間 真人（第34回年会）

以下の出席者は、Zoomを利用したウェブシステムにより参加した。

副会頭： 寺田 智祐、百瀬 泰行
理 事： 池田 龍二、齋藤 秀之、田﨑 嘉一、豊見 敦、中村 敏明、花輪 剛久、矢野 育子
顧 問： 武田 泰生
年会長： 三浦 昌朋（第33回年会）

陪席者

事務局： 星 隆弘、姫嶋 直子、針生 裕子、田中 結寿、阿部 薫

欠席者

理 事： 佐藤 淳子、濱浦 健司
監 事： 望月 眞弓
顧 問： 五十嵐 邦彦、山本 信夫

四．議長： 山本 康次郎

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 18 名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1．2023年度第4回定例理事会議事録の確認

議長より、本年10月11日に開催された2023年度第4回定例理事会の議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には早めに指摘するよう要請があった。

2．第 15 回臨時社員総会議事録の確認

議長より、本年 11 月 4 日に開催された第 15 回臨時社員総会の議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には早めに指摘するよう要請があった。

3．協議事項

(1) 2023 年度各専門薬剤師認定制度における認定審査結果

1) 2023 年度医療薬学専門薬剤師制度の新規、更新の各認定審査結果

花輪理事より、2023 年度医療薬学専門薬剤師制度の各認定資格の新規及び更新の各申請に係る医療薬学専門薬剤師認定委員会（以下、医療薬学認定委員会）での審議結果の説明があった。

1)-1 医療薬学専門薬剤師（新規・正規）の認定審査

2023 年度専門薬剤師認定試験の合格者 23 名、第 7 回薬剤師生涯学習達成度確認試験の合格者 11 名、前年度までの試験合格者 7 名より提出された臨床実績を医療薬学認定委員会で審査した結果、40 名を合格、1 名を不合格と判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

1)-2　医療薬学専門薬剤師（暫定認定から正規認定への移行）の認定審査

申請者 12 名より提出された臨床実績の審査した結果、全 12 名を合格と判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

1)-3　医療薬学専門薬剤師（新規・暫定）の認定審査

2023 年度専門薬剤師認定試験及び第 7 回薬剤師生涯学習達成度確認試験に合格した 11 名を暫定認定とすることが説明された。協議した結果、了承された。

1)-4　医療薬学指導薬剤師（新規）の認定審査

44名より提出された申請事項を医療薬学認定委員会で審査した結果、全44名を合格と判定したことが説明された。協議した結果了承された。

1)-5　医療薬学専門薬剤師研修施設（新規・基幹施設）の認定審査

18 施設より申請があり、医療薬学認定委員会で審査した結果、全 18 施設を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

1)-6　医療薬学専門薬剤師研修施設（新規・連携施設）の認定審査

15 施設より申請があり、医療薬学認定委員会で審査した結果、全 15 施設を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

1)-7　医療薬学専門薬剤師の更新審査

更新申請に 320 名の更新と 1 名の更新保留申請を医療薬学認定委員会で審査した結果、全 320 名の更新と全 1 名の更新保留を認めと判定したことが説明された。協議した結果了承された。

1)-8　医療薬学指導薬剤師の更新審査

更新申請に 154 名より申請があり医療薬学認定委員会で審査した結果、全 154

名の更新が認めると判定したことが説明された。協議した結果了承された。

1)-9　医療薬学研修施設（更新・基幹施設）の更新審査

78 施設より更新申請があり医療薬学認定委員会で審査した結果、全 78 施設（基幹施設）の更新を認めると判定したことが説明された。協議した結果了承された

2）2023 年度がん専門薬剤師制度の新規認定審査結果

池田理事より、2023 年度がん専門薬剤師制度における次の認定審査に係る説明があった。

2)-1　がん専門薬剤師（新規）の認定審査

2023 年度がん専門薬剤師認定試験合格者 44 名及び再申請者 15 名より提出された症例サマリ（50 症例）をがん専門薬剤師認定委員会（以下、がん認定委員会）で審査した結果、47 名を合格、12 名を不合格と判定したことが説明された。また、がん専門薬剤師認定試験に合格していないが、旧制度下で症例サマリの審査で合格していた者のうち、今年度の認定試験に合格した 2 名を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、49 名をがん専門薬剤師として認定することが了承された。

2)-2　がん専門薬剤師研修施設（新規・基幹施設）の認定審査

16 施設より当該基幹研修施設に申請があり、がん認定委員会で審査した結果、全 16 施設を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

2)-3　がん専門薬剤師研修施設（新規・連携施設）の認定審査

10 施設より当該連携研修施設に申請があり、がん認定委員会で審査した結果、全 10 施設を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

3）2023 年度薬物療法専門薬剤師制度の新規認定審査結果

関根理事より、2023 年度薬物療法専門薬剤師制度における次の認定審査に係る説明があった。

3)-1　薬物療法専門薬剤師（新規）の認定審査

2023 年度専門薬剤師認定試験又は第 7 回薬剤師生涯学習達成度確認試験の合格者 16 名と再申請者 8 名より提出された症例サマリ（50 症例）を薬物療法専門薬剤師認定委員会（以下、薬物療法認定委員会）で審査した結果、15 名を合格、9 名を不合格と判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

3)-2　薬物療法専門薬剤師研修施設（新規・基幹施設）の認定審査

10 施設より当該基幹施設に申請があり、薬物療法認定委員会で審査した結果、全 10 施設を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

3)-3　薬物療法専門薬剤師研修施設（新規・連携施設）の認定審査

2 施設より当該連携施設に申請があり、薬物療法認定委員会で審査を実施した結果、両施設を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

4) 2023年度地域薬学ケア専門薬剤師制度の新規認定審査結果

豊見理事より、2023年度の地域薬学ケア専門薬剤師（新規・暫定）及び研修施設（新規・連携施設）に係る地域薬学ケア薬剤師認定委員会（以下、地域薬学認定委員会）での審議結果が説明された。

4)-1　地域薬学ケア専門薬剤師（新規）の暫定認定審査

16名（地域薬学ケア専門薬剤師10名、地域薬学ケア専門薬剤師（がん）6名）より申請があり、地域薬学認定委員会で審査を実施した結果、全16名を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

4)-2　地域薬学ケア専門薬剤師研修施設（新規・連携施設）の認定審査

11施設より申請があり、地域薬学認定委員会で審査した結果、全11施設を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

(2) 地域薬学専門･指導薬剤師の英語表記

豊見理事より、地域薬学ケア専門薬剤師、同専門薬剤師（がん)、同指導薬剤師の各英語表記につき再度検討した結果が説明がされた。協議した結果、以下の英語名称が了承された。

【地域薬学ケア専門薬剤師】

Board certified Community Healthcare Pharmacist
(BCCHP JSPHCS)

【地域薬学ケア専門薬剤師（がん)】

Board certified Community Healthcare Pharmacist (Oncology)
(BCCHP(O) JSPHCS)

【地域薬学ケア指導薬剤師】

Board certified Senior Community Healthcare Pharmacist
(BCSCHP JSPHCSJSPHCS)

(3) 2024年度の各専門薬剤師制度による申請受付スケジュール

事務局より、各専門薬剤師制度における2024年度の申請受付スケジュールが説明された。協議した結果、了承された。

(4) 将来計画･専門薬剤師制度小委員会による検討(報告･提言方針)

寺田副会頭より、本学会の専門薬剤師制度のあり方を検討する専門薬剤師制度小委員会における検討として、①認定者を増やす方策として、厚労科研で報告された第三者機関認定による専門薬剤師の認定要件をもとに、医療薬学、薬物療法及び地域薬学ケア(がんを含む)の各専門薬剤師の研修期間を5から3年に短縮すること、それに伴い症例数を50から30症例に減ずる見直しをすること、②専門薬剤師制度の認定試験問題の作成及び症例審査に対応した委員への謝金の支払いに係る検討結果が報告された。協議した結果、①は各専門薬剤師制度の認定委員会で十分に議論を進めた上で検討すること、②は今後謝金規程等を改正した上で、実行することが確認された。

(5) 会員委員会による提言

宮﨑理事より、会員委員会で議論した「会員であること、また会員を継続するメリットを明確にする」などの 10 の提言に係る説明があった。本件については、一部表記への修正の求めがあり、会員委員会で再検討した後に、改めて理事会に提言を行うこととなった。

(6) 2024-2025 年度役員候補者選挙

富岡理事より、2024-2025 年度役員候補者選挙の結果として、立候補者 12 名全員が投票により信任されたことが説明された。

続いて議長より選挙結果を受け、2024-2025 年度役員候補者選挙の当選者による会合が開催され、山本会頭が次期会頭候補者として選任したこと、また役員候補者推薦委員会の編成案を検討したことが説明された。協議した結果、当該編成案は了承された。

(7) 2024 年度以降の医療薬学公開シンポジウムの開催計画

伊藤理事より、2024 年度の医療薬学公開シンポジウムの実行委員長の候補者案として、既に 2023 年度第 1 回定例理事会にて了承済みの 2 名に加えて、新たに 2 名を推薦することが説明された。協議した結果、了承された。

賀川 義之（静岡県立大学 薬学部教授）静岡県・・・第 1 回理事会了承済
崔 吉道 （金沢大学附属病院 薬剤部長）石川県・・・第 1 回理事会了承済
北原 隆志（山口大学医学部附属病院 薬剤部長）山口県
長谷川 豊（市立貝塚病院 薬剤部長）大阪府

また、2025 年度の本シンポジウムの実行委員長候補者案として、次の 3 名の内諾を得ていることも説明され、本件についても了承された。

岩本 卓也（三重大学医学部附属病院 薬剤部長）三重県
座間味 義人(岡山大学病院 薬剤部長）岡山県
中川 貴之（和歌山県立医科大学附属病院 薬剤部長）和歌山県

(8) 第 7 回フレッシャーズ・カンファランスの開催計画

伊藤理事より、第 7 回フレッシャーズ・カンファランスを北里大学白金キャンバス（東京都港区）にて 2024 年 6 月 8 日（土）～9 日（日）または 6 月 15 日（土）～16 日（日）のいずれかの 2 日間で開催する予定と現時点での日程表案をもとに説明があった。協議した結果、了承された。

また当該事業は、学生の参加及び発表が多く、企画面での活性化は進んでいるが、財政面では例年赤字となっていることより、運営と財政の両面を交えた検討の必要性が共有された。

(9) 本学会ホームページのリニューアルの対応（委託業者の選定、支出見込み）

中村理事より、本学会ホームページのリニューアルへの対応として、広報・出版委員会において複数の業者を対象にコンペティションを実施し、①ホームペー

ジの刷新に対応できる実績を有していること、②他のシステムと連動させるなどの拡張性に対応できること、③十分な保守運用体制を有していることの３項目に着眼して選考した経緯と見込まれる経費に係る説明があった。今後の作業として、まずはリニューアルを進めることとし、拡張面での活用方法については、改めて検討を進める方針が示された。協議した結果、了承された。

(10) 会務におけるハラスメント用の外部通報窓口の設置方針

事務局より、第2回定例理事会で協議された連携研修におけるハラスメント発生への対応として、通報窓口（一次）を第三者機関に委託する案と、通報対象者を本学会の活動に関わる全員及び事務局勤務者にすることに係る調査結果が報告された。協議した結果、ハラスメントの防止対策と発生時の対応の双方の検討を進めること、通報窓口を学会内に設置するのか或いは第三者に委託するの取扱いについては継続して検討すること、また学会内の体制整備や広報を進めること、連携研修に関わる指導者らへのハラスメント研修会の受講依頼などについても検討することとなった。今後は、速やかにハラスメントの防止規程、通報に係る運用指針や通報後のフローの整備を進めることとし、本件については専門家に相談や依頼をすることとなった。

(11) 過年度会費の遡及納入の取扱い（２名）

宮﨑理事より、2022 年度会費の遡及納入に係る 2 件の嘆願への対応について説明がなされた。協議した結果、本嘆願は了承された。

(12) 年会における国際交流事業の運営方針（申送書）

矢野理事より本学会年会における国際交流事業に関わる申送り事項及び今後の検討事項について説明された。次回の第34回年会以降はInternational Session (Oral)と国際シンポジウムを1コマずつとすること、学会・年会・国際交流委員会の役割分担を示したこと、学会・年会での経費負担先を明確にすること、国際交流委員会が担う事前・当日対応を明示したことなどを申送書として取りまとめたことが説明された。協議の結果、年会における国際交流事業における検討課題については、年会長を含めた調整が必要になるため、年会運営実行小委員会で協議することとなった。

(13) JPHCS 誌の取扱い

村木理事より、JPHCS 誌の出版社である BioMed Central Limited（BMC）との 5 年間の出版契約が 2024 年 12 月をもって満了する。本契約の更新後の APC 負担額を確認したところ、毎年増額される内容となっているため、著者及び学会の各々の経費負担のシミュレーション結果を基に、契約更新の是非に係る意見の求めがあった。また、当該契約を更新しないケースの代替案も提示された。本理事会の意見としては、2025 年からの 5 年間の出版契約を更新することとし、著者と学会の負担割合も現状を維持することとし、5 年後に契約を更新する前に本誌

の出版方針等に係る検討を進めることとなった。

(14) 事務所賃料の値上要請への対応

事務局より、日本薬学会長井記念館7階の事務局の賃料につき2024年4月より坪単価2,600円の値上要請があったことが説明された。協議の結果、近年の渋谷近辺の賃料が上がっていることは確かであるが、値上幅を減じて交渉を進めることとなった。

(15) 薬剤師研修センターの研修単位に係る第33回年会における報告と対応

事務局より、第33回の年会（11月3日～5日の3日間）の現地参加者のうち薬剤師研修センターの研修単位の取得登録者に対して、単位交付ができていない状況が報告された。担当社のコンベンションから提出された報告書を基に、参加者データを取扱う上でトラブルが発生したため、同センターの研修管理システムに参加者データを登録できていないこと、そのため現地参加者の中から同センターの研修単位の交付を希望し日病薬の研修単位の交付登録をしていない者を絞り込んだうえで、対象者に対して現地での参加登録に係る調査を実施する方針であることが説明された。協議の結果、前述の調査結果を基に、確認された受講者情報をもって同センターと協議することが確認された。

(16) 薬剤師生涯学習達成度確認試験の受験者増加に係る検討依頼

百瀬理事より、第4回定例理事会で協議した薬剤師研修センターから意見の求めがあった薬剤師生涯学習達成度確認試験（当学会の専門薬剤師認定試験と同一問題）の受験地を減ずることに対して本学会から意見を提示したところであるが、それを受けて同センターより、受験者増加対策として試験問題や出題範囲の明示など受験者への情報提供に繋がるよう情報の提供依頼があったことが説明された。協議した結果、同一試験問題となる当学会ホームページに掲載している医療薬学専門薬剤師制度試験出題ガイドライン、参考図書、例題を提供し、同センターの受験案内の中に掲載できるよう対応することとなった。

(17) 事務局改装に係る対応

事務局より、事務局改装案につき前回の理事会より一部修正が行われたことが説明され、2024年の4月～5月の休日に改装を実施したいことが説明された。協議した結果、了承された。

4. 報告事項

(1) 2023年度利益相反申告に係る審査結果報告

富岡理事より2023年度利益相反申告に係る審査結果について対象者全273名より申告があり、疑義もしくは社会的・法的問題に抵触するような重大な利益相反は認められなかったことが報告された。

(2) 第 33 回年会の開催報告

三浦年会長より、第 33 回年会の現地開催及びオンデマンド配信の実施状況が報告された。

(3) 第 34 回年会の準備状況報告（意見伺いを含む）

本間年会長より、第 34 回年会における公募シンポジウムの募集要項、その他の準備状況が報告された。また第 34 回年会のシンポジウムにおいては、会員だけでなく非会員にも講師謝礼を支払わない方針が説明された。

(4) 医療薬学公開シンポジウムの実施報告（第 89～92 回）

伊藤理事より、第 89～92 回医療薬学公開シンポジウムの実施について報告された。

(5) 第 1 回地域薬学ケア専門薬剤師・症例報告の書き方ワークショップ実施報告

豊見理事より、第 1 回地域薬学ケア専門薬剤師・症例報告の書き方ワークショップの実施について報告された。

(6) 第 3 回がん介入症例書き方スキルアップセミナーの開催計画

池田理事より、第 3 回がん介入症例書き方スキルアップセミナー2024 年 2 月 10 日に開催されることが説明された。

(7) 第 10 回がん専門薬剤師アドバンスト研修会の開催計画

池田理事より、第 10 回がん専門薬剤師アドバンスト研修会を 2024 年 2 月 17 日に開催されることが説明された。

(8) 第 4 回臨床研究セミナーの開催計画

矢野理事より、第 4 回臨床研究セミナーが 2024 年 4 月 14 日に開催されることが説明された。

(9) 後援依頼への対応　（報告_3 件）

議長より、後援依頼が3件あり了承したことが報告された。

・第13回九州山口薬学会ファーマシューティカルケアシンポジウム（主催：九州山口薬学会）
・公開シンポジウム医療需要や医師の働き方等の変化を踏まえた病院薬剤師の需要把握のための研究（主催：令和5年度厚生労働科学研究費補助金「医療需要や医師の働き方等の変化を踏まえた病院薬剤師の需要把握のための研究」研究班）
・第8回日本精神薬学会総会・学術集会（主催：一般社団法人日本精神薬学会）

(10) 2024 年度版広報用リーフレット

事務局より、2024 年度版広報用リーフレットが共有された。

(11) 委員会等報告

次の各委員会等の開催概要が議事録にて報告された。

・2023 年度第 1～2 回専門薬剤師制度小委員会
・2024-2025 年度役員候補者選挙管理委員会
・2024-2025 年度役員候補者選挙当選者による会合
・2023 年度第 2～3 回フレッシャーズ活性化委員会
・2023 年度第 2 回専門薬剤師制度運営委員会
・2023 年度第 2 回出版小委員会
・2023 年度第 2 回企画・シンポジウム委員会
・2023 年度第 1 回臨床研究推進委員会
・2023 年度第 3～4 回医療薬学専門薬剤師認定委員会
・2023 年度第 2 回がん専門薬剤師認定委員会
・2023 年度第 3 回がん専門薬剤師研修小委員会
・2023 年度第 3 回がん専門薬剤師能力向上小委員会
・2023 年度第 1 回薬物療法専門薬剤師認定委員会
・2023 年度第 3～4 回地域薬学ケア専門薬剤師認定委員会

豊見理事より 2023 年度第 4 回地域薬学ケア専門薬剤師認定委員会の報告事項として、地域薬学ケア専門薬剤師および地域薬学ケア専門薬剤師（がん）の過渡的措置（暫定認定）は、来年度（2024 年）の申請をもって終了するが、コロナ禍における研修見合わせなどの影響を考慮し、当該措置を 3 年程度延長したいという方針になったことの報告と本対応に係る意見伺いがあり、賛同された。

(12) その他

池田理事より、がん専門薬剤師、がん指導薬剤師のメーリングリストは、がん専門薬剤師能力向上小委員会で管理・運用している。今般、対象者に当該リストへの登録依頼を進めたいが、事務局から連絡（メール配信）をしていただきたい旨の依頼があった。

5. 連絡事項

(1) 第 16 回定時社員総会、2024 年度第 1 回臨時理事会の開催日時

事務局より、第16回定時社員総会を2024年3月24日14時～15時、2024年度第 1 回臨時理事会を15時20分～16時30分にAP東京八重洲にて開催する計画が共有された。

(2) 2023 年度各委員会活動報告書の提出

事務局より、各委員会の委員長に委員会の活動報告を 1 月 31 日までに事務局に提出いただくよう依頼がされた。

(3) 第 34 回年会における公募シンポジウム、ワークショップへの演題登録

事務局より、第34回年会の公募シンポジウムまたはワークショップ等へ各委員会企画で演題登録を希望する場合は各自で期限までに登録いただき、次回の理事会にて情報共有するために登録情報を事務局に報告いただくように依頼がされた。